

## 平成 29 年度 第 1 回霧島市母子保健検討委員会 会議趣旨

開催日時	平成 29 年 7 月 24 日（月） 19:30～21:00		
開催場所	国分シビックセンター公民館 3 階 大会議室		
出席委員	碓元委員長、前田委員、宮川委員、山崎委員、新田委員、塗園委員、丸山委員 松元委員、折田委員		
事務局	林健康増進課長、中村健康増進グループ長、吉村健康づくり推進室長、 上小園健康づくりサブリーダー、重留グループ長、島木副所長、 鮫島こども家庭支援室長、東郷こどもセンター副所長、 末満安全・保健体育グループ長、今井指導主事、木原主査、渡邊主査、 小島主査、		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0 人
<b>議事</b> (1) 母子保健計画（第 2 次）評価及び母子保健計画（第 3 次）計画について (2) 平成 28 年度母子保健事業実績及び平成 29 年度母子保健事業計画について (3) その他			
<b>協議結果等の概要</b> <b>委</b> ：委員 <b>事</b> ：事務局 (1) 母子保健計画（第 2 次）評価及び母子保健計画（第 3 次）計画について ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。			
<b>【肥満傾向にある小学 5 年生の割合について】</b> <b>委</b> ：肥満傾向にある子どもの割合（小学 5 年生女子）が 9.2%とあるが、この数値の根拠は何か。 <b>事</b> ：小学 5 年生にアンケートを配布し、自己記述式で回答した内容から肥満に該当するものを算出したものである。 <b>委</b> ：アンケートの対象の結果だけで、評価するのはいかがなものかと思う。 <b>事</b> ：小児生活習慣病予防健診のデータを活用することはできないか検討したが、前回計画策定時の対象が小学 4 年生を対象としていたことから、健診データを活用するのではなく、自己記述式で割合を出すこととなった。 <b>委</b> ：各学校の健診のデータは養護教諭がもっているのではないか。 <b>事</b> ：各学校のデータは地区医師会に集積してある。 <b>事</b> ：教育委員会に再度相談し、検討したいと思う。			
<b>【起床時刻について】</b> <b>委</b> ：「あなたの起きる時刻は何時ですか」の問は、曜日を限定した問い方なのか。「午前 9 時より後」と回答した者が 4 人いる。平日なのか休日なのかで異なると思う。 <b>事</b> ：曜日を限定した問い方ではない。学校に行くことができない子どもが含まれていると思われる。			
<b>【子宮頸がんワクチンについて】</b> <b>委</b> ：子宮頸がんワクチンについて、市はどのような周知をしているのか。子宮頸がんワクチンの効果と副反応を周知し、情報をしっかりと伝える必要があるのではないか。 <b>事</b> ：個人通知は、積極的受診勧奨を控えるとのことで現在は行っていない。接種希望者が			

いた場合は、問診票を発行し、公費負担で接種できる状況である。

**委**：子宮頸がんの発症率や死亡率等、正確な情報を提示していく必要があると思う。

**事**：他市の状況や県にも相談し、霧島市の周知方法について検討したい。

#### 【処遇困難事例の対応について】

**委**：「育てにくさを感じる母親は、児が成長するにつれて増加しており、今後、相談先の周知を図っていく必要がある」とある。歯科医院を受診する母親の中には、一般的な指導内容を理解することが難しいのではないかと感じる母親がいる。そのような母親に対してはどのように対応しているのか。

**事**：処遇困難事例については、地区担当の保健師が対応している。子育て支援課や関係機関等と協同し支援をしている。

**委**：地区に担当児童委員がいるので、市からの依頼を受けて見守り活動を行っている。日々活動して感じていることは、乳幼児期に問題を抱えた家庭は、学童期以降まで問題が継続してしまうことが多い。

#### 【受動喫煙について】

**委**：受動喫煙について、「学校」「飲食店」「遊技場」「医療機関」の受動喫煙の機会を有する者を減らすために、市はどのように協力を求めていく予定なのか。

**事**：保健所が「タバコの煙がないお店の登録」を行っている。霧島市内の登録件数が少ない現状もあり、保健所と一緒に登録推進を図っていききたい。また、まずは「家庭」の受動喫煙について、子育て世代への教育を充実させていかなければならないと思っている。

**委**：市と連携を図り、「タバコの煙のないお店の登録」の取組を推進していきたい。

**委**：薬剤師会では、中学校において薬物乱用等についての指導を行っている。実施率100%を目指したい。小学校においても、タバコ・アルコールについての指導を行っている。継続して実施していくことで、将来的に効果が期待できるのではないと思う。

**事**：教育委員会では全ての小・中・高校で実施するように指導しており、調査も実施している。平成27年度より実施率100%であるとの報告を受けている。

**委**：飲食店へのアンケートの対象は、居酒屋も入っているのではないかと。10代の「飲食店」の受動喫煙の対象を昼間の食堂に限定することで、数値は下がるのではないかと。

**事**：飲食店へのアンケートと子どもアンケートをリンクさせていない。

#### 【出生前診断について】

**委**：霧島市でも出生前診断をして中絶をする人がいるのか。

**事**：そのような統計を把握することはできない。

**委**：出生前診断の検査ができるのは、九州で3箇所のみである。県内は実施できる機関がない。

(2) 平成28年度 母子保健事業実績及び平成29年度母子保健事業計画について  
⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。

**委**：現在発達外来を行っている医師2名を、今後、常勤にしていく動きなどはあるのか。

**事**：始良地区の2市1町で、検討しているが、市町によって考え方に差があるようだ

**委**：相談数は今後も増えていくと考えられるが、スタッフ数の増員はあるのか。

**事**：スタッフは足りていない。今年度、嘱託臨床心理士1名の予算を確保し、求人の募集

を出している状況である。

【委】：相談者数が増えれば、またスタッフは足りなくなるのではないか。

【事】：今後、発達外来の医師も一緒に教育委員会と協議の時間を設ける予定である。

【産後ケア事業及び新生児聴覚検査について】

【委】：産後ケア事業について、現在は市からの補助はないようだが、今後どのようになるのか。

【事】：霧島市としては9月の補正予算に計上するつもりで財政課との協議を行っている。今年度、補正予算で難しい場合は、平成30年度から実施できないかと考えている。

【委】：新生児聴覚検査の補助について、補助がないのは霧島市と始良市と聞いている。どのようになっているのか。

【事】：平成30年度からの実施に向けて協議している。

【思春期保健対策について】

【委】：現在、子育て支援を行っているが、母親や父親になる子どもたちへの教育の必要性を感じる。未来の父親・母親を育てる施策についても考えて頂きたい。

【事】：性教育や命の大切さについては、養護教諭とさらに連携を図りながら、充実させていきたい。

(4) その他

会議資料

【配布資料】

- 会次第
- 平成29年度霧島市母子保健検討委員会委員名簿
- 霧島市健康・生きがいづくり推進における各種委員会の設置に関する要綱
- 母子保健計画（第2次）評価及び母子保健計画（第3次）について
- 計画查定の考え方
- 母子保健計画（第2次）の評価
- 平成28年度 母子保健事業実績及び平成29年度母子保健事業計画